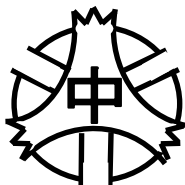


学校だより



富士宮市立北山中学校
令和7年4月28日(月)
1年 52名、2年 40名、3年 48名
全校生徒 140名

学校教育目標「夢に向かって 自ら学び 高め合う生徒」

令和7年度入学式より

校長

4月8日、満開の桜と温かい春の日差しに包まれ、52名の新入生と7名の新任職員を迎え、全校生徒140名で北山中学校における令和7年度の教育活動が始まりました。

午後の入学式では、少し大きめの制服を身につけた新入生が、本校における初めての儀式的行事に参加しました。少し緊張気味の表情でしたが、立派な姿勢で式典に臨み、特に、呼名の返事では一人一人の声が体育館に響き渡りました。これから始まる新たな生活への期待感を感じました。以下に入学式当日の式辞を紹介させていただきます。(抜粋)

新入生の皆さんは、一月末に行われた入学説明会での説明や授業見学、また、二月上旬に、北山中の一年生が小学校に出向いて行った中学校の説明を覚えていると思います。生活の心得や、授業・家庭学習の取り組み方、生徒会活動や学校行事、部活動等のおもしろさ、やりがい、達成感等について、北山中の一年生が一生懸命に説明をしました。その中で皆さんは、小学校と中学校の違いを感じたと思います。教科によっては名前が変わったり、授業時間が長くなったり、また、専門の教科担当が授業を行ったりといったこともありますが、一番の違いともいえることは、学校における活動の多くを、皆さん自身の力で運営することではないでしょうか。つまり、皆さん自身の力で学校生活を創り上げるのです。今までは、ああしなさい、こうしなさいと先生や家族、地域の方々から言われて行動することが多かったかも知れませんが、これからは、まず、「あなた自身がどうしたいのか」という思いや考えをもつこと、そして、「なぜそうするのか」「本当にそれが、正しい考えなのか」「もっと良い方法がないか」など、より適切な方法や解決策について、理由や根拠を言葉にして語れることが大切になります。自分なりの考えをもち、仲間と交流を図りながら、よりよい方向性を見つけ、自ら進んで行動に移すのです。

そのような活動の一環として、本校生徒会では、昨年度、「北山中文化創造宣言」という、目標(スローガン)を掲げました。学習面、生活面、そして、すべての基本となる挨拶など、日々の取組が文化そのものであるという力強いメッセージと共に、活動の方向性を宣言しました。本年度はその生徒主体の取組が本格的になります。学習面では、社会で活躍できる人材になることも見据え、目標を持って、日々の授業に真剣に取り組むことや学習習慣を身に付けることなどが盛り込まれ、生活面では、安全で安心な生活のために、身だしなみのことや時間にメリハリをつけるなど、一日一日の生活を大切にすることが、そして、誰とでもよりよい人間関係を築くためにも、すべての基本となるあいさつを大切に、誰とでも分け隔てなく、進んで交流する姿勢についても触れています。分からないときは、2、3年生の取組をじっくり観察し、参考にしたり、また、2、3年生に問いかけたりしてください。皆さんなら、本校の生徒として誇りをもち、また、多くの先輩方がつないできた良い伝統を引き継ぎ、地域の方々からも愛され、小学生からも尊敬される中学生になれます。皆さんの真剣な眼差しを見ていると、そのように感じます。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。しっかりと正面を見つめることもたちの姿に、改めて、成長と喜びを感じていることと存じます。こどもたちは、期待と不安の日々を送ると思いますが、生活に慣れるまでは不安の方が大きいかも知れません。新入生が母校、北山中学校に誇りをもち、生き生きと中学校生活を送れるよう、私たち職員も優しく、温かく見守りながら、時には毅然とした姿勢で助言をしながら、保護者の皆様、地域の皆様と共に力を合わせて努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

新入生の健やかな成長を心より祈念いたしまして式辞とします。